



▲旅の体験をいきいきと発表する中学生

夜の施設で文化や歴史を学ぶ

のぼりべつカルチャーナイト

9月28日(金)、市内各地で『のぼりべつカルチャーナイト』(同実行委員会主催)が開かれました。

カルチャーナイトは、北欧が発祥といわれ、夜間開放された公共・文化施設や民間施設で市民が地域の文化を楽しむ催しで、市内では初めて開催されました。

この日は、郷土資料館や市立図書館、知里幸恵銀のしずく記念館、JR登別駅など14施設が参加。施設ごとに未公開資料の展示や演奏会、写真展などが行われ、参加者は地域の文化や歴史への理解を深めていきました。

9/28



▲ムックリ(アイヌ民族楽器)の演奏を聞く参加者

異文化に触れ一回り大人に

デンマーク友好都市中学生派遣交流事業研修報告会

10月17日(水)、市民会館で『登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業研修報告会』(市主催)が行われました。

この事業は毎年、市の友好都市『デンマーク王国フアボー・ミッドフュン市』に中学生を派遣し、異文化体験などを通して豊かな人間性を育むことと、同市との交流の促進を目的に行われています。

報告会では、派遣された9人の中学生が、7泊8日の旅で体験したことや感じたことを発表。保護者や関係者が見守る中、旅を通して一回り成長した姿を見せていました。

10/17

多くの市民に親しまれついに100万人

市民プール『らくあ』入館者100万人達成

10月18日(木)、市民プール『らくあ』の入館者数が、ついに100万人を達成しました。

『らくあ』は健康増進施設として平成16年6月にオープン。子どもから大人まで楽しめるさまざまな教室や本格的なトレーニングマシンなどが完備され、これまで多くの市民に親しまれてきました。

記念すべき100万人目となったのは、市内在住の乙部将史さん。普段から『らくあ』を利用している祖母と一緒に初めての来館。職員が鐘を鳴らしながら「100万人目の来館者です。おめでとうございませ」と伝えると、とても驚いた表情を浮かべていました。

乙部さんには登別ブランドのギフトセットなどが贈られたほか、100万1番目以降の入館者にも記念品が贈られ、常連の利用者は「そんなにたくさん来たんだね」と感慨深そうに話していました。

10/18

